



公益社団法人 福岡貿易会
FUKUOKA FOREIGN TRADE ASSOCIATION

FUKUOKA
FOREIGN
TRADE
ASSOCIATION



第35号

福貿ニュース

福岡貿易会情報誌

「アジア経済交流センター」リニューアルオープン ～お気軽にお立ち寄りください～



(事務室で会議中)

福岡貿易会の事務室には、「アジア経済交流センター」としての機能があります。その一環として、海外の企業と貿易を行う上で必要な貿易の実務書や国別の地域情報、統計書、経済誌など様々な情報を収集しています。収集した情報は、自由に閲覧することができます。

平成 27 年 3 月末、福岡貿易会の事務室を改装し、商談や待ち合わせ、企業間の交流などサロン機能を強化しました。また 24 名程度の会議・セミナーの開催もできる多目的交流スペースに生まれ変わりました。

情報収集も今までどおり継続しています。
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

公益社団法人福岡貿易会 （「アジア経済交流センター」）

福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
商工会議所ビル7階
Tel : 092-452-0707
fax : 092-452-0700

第50回通常総会・臨時理事会・会員交流会の開催

平成26年度事業報告、収支決算及び役員を選任等を審議するため、第50回通常総会が5月26日(火)にホテルニューオータニ博多で開催されました。全議案の決議とともに新たな役員(理事・監事)が選任され、10年間にわたり当会の会長を務めていただいた並田正一会長は、通常総会閉会をもって理事を退任されました。

その後、会長・副会長の選任等を審議するため、新理事・監事により臨時理事会が開催され、株式会社正興電機製作所代表取締役会長 土屋直知氏が第11代目の会長に就任されました。

並田前会長は、その豊富なご経験を活かし当会発展の力添えをいただくため理事総意のもと当会の相談役に就任されました。

引き続き、会場を移動し、会員交流会が開催され、土屋会長就任のご報告とともに土屋会長から就任のごあいさつがありました。

関係機関や在福岡外国公館から多数の方々にご参加いただき、会員同士の交流がより一層深まった会員交流会となりました。



公益社団法人福岡貿易会 会長就任のご挨拶

会長 土屋 直知



平成27年5月に役員の皆様から推され、公益社団法人福岡貿易会会長の重任を勤めさせていただくことになりました。当会は、1958年9月に創設され、今年で57年目を迎えます。また約300社の会員数を誇る西日本有数の貿易関係団体です。この伝統ある会の会長に就任させていただきましたことは、大変な名誉と感謝いたしますとともに、改めて責任の重さを実感する次第です。

福岡は、鴻臚館(筑紫館)に象徴されるように古くから大陸との往来が盛んで、中世は、博多の商人たちの貿易によって、「博多商人」の町として独自に栄えてきました。当時から福岡は外国との重要な交流拠点であり、同時に、私どもの先輩たちによって、貿易に関するノウハウが蓄積され、今日においては、国内有数の国際商業都市として発展してまいりました。

現在、福岡では、アイランドシティ国際コンテナターミナル整備や福岡空港国内線ターミナルビルの再整備が進められ、また、市営地下鉄の延伸工事などのインフラの充実とともに、昨

年は、アベノミクスの第3の矢である成長戦略の要「国家戦略特区」に選定されるなど、活力ある街として注目を浴びており、海外との貿易を展開する上でも優位性の高い都市へと成長を続けております。

当会においては、貿易セミナー等の開催による人材育成や海外展開を目指す方々へのアドバイスなど、長年培ってきた経験と実績を活用していくと同時に、会員の皆様方のネットワークを通じ、相互に海外展開を応援することにより、公益社団法人として、福岡地域及び周辺経済圏の貿易の振興を図り、ひいては各地域に、よりよい製品・サービスの提供を行うことによって、社会貢献に繋がっていただければ幸いです。

これからも会員の皆様とともに地域経済の発展に寄与していく所存です。どうぞ皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

つちや なお のり
土屋直知

福岡市出身。1945年5月5日生まれ。
九州大学工学部電気工学科卒。

'69年 ㈱日立製作所入社。'81年 ㈱正興電機製作所入社、'97年 同社代表取締役社長就任、'05年 同社代表取締役会長就任。福岡大連未来委員会委員長、福岡エレコン交流会会長、福岡経済同友会国際委員会副委員長/エネルギー委員会副委員長。趣味は、ゴルフ、木工、旅行など。

特別寄稿

「語学研修地 —ブラジル—

双日九州株式会社

代表取締役社長

大野 滋



家庭教師宅でのバーベキュー

ブラジルのサンパウロ空港からプライベート・ジェットで1時間強、緑に囲まれたミナス・ジェライス州(MG州)アラシャ空港に到着する。以前は温泉の保養地として有名だったこの地も、今はレアメタルの一つであるニオブの生産地として脚光を浴びている。2011年4月、双日は日本の高炉2社、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、韓国の高炉、年金基金の計6社と共に日韓コンソーシアムを創り、このニオブアラシャ鉱山を保有するCBMM社の株式、15%を獲得した。

1983年7月、ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ空港に降り立った。語学研修生として派遣されたにも係らず、知っている単語は「おはよう(Bon dia)」「有難う(Obligado)」だけ(赴任前に個人レッスンを1年弱、受講出来るにも係らず、不真面目な生徒で、殆ど受講していなかった)。この為、入国審査で上手く説明できず、控室に連れて行かれ、入国するまで3時間以上もかかる始末。

言葉は話せないも、兎も角、研修する大学のある、リオからバスで4時間弱のジュイス・デ・フォラ市(MG州)へ。住所だけを頼りに必死の思いで、ホームステイ先のリゼッチ家を探し出す。挨拶も何もかも、手振り身振りでコミュニケーションを図るしかない。8月から始まる大学の新学期に合せ、家庭教師を含め、徹底的にポルトガル語の詰込。一か月も経つと、不思議と一人で街を歩けるようになる。そうになると、元来の性格が出て、急激に勉強時間が少なくなる。それに輪をかけるように、研修期間の1年の間に生徒によるストライキと教員によるストライキが続き、授業があつたのは正味4か月のみ。空いた時は肌で南米を知るのも研修の一環と位置付け、南米中を旅行。でも、困つたのは会社への報告。学年末に教授に泣き付いて単位



取得証明書を何通か出してもらい、事なきを得た。

当時、リゼッチ家への支払い(掃除・洗濯、食事付き)はUS\$100/月のみ(因みに日本に国際電話で10分話すとUS100かかった)。若かつた自分でも安いと感じるも、彼らにとっては、非常に大きな金額。

1983年は1985年の民政移管前のフィゲレイド大統領時代。ハイパー・インフレの時代であり、自分がいた1年間でのインフレーションは1,300%を超えた。町のレストランのメニューは価格の欄だけ鉛筆書き(毎週、消しゴムで消され、新価格が書き込まれる)、タクシーはメーターの換算表を用いての支払い。庶民は、給与をもらうと、即、生活必需品を買い込んで倉庫に保管。余つたお金があれば、金に変えたり、闇ドル業者でドルの購入と防衛する。

でも、人は明るく、パール(町の居酒屋)に集まるとは、ジェラート状態のギンギンに冷えたビールを飲んで、サッカーの話題に興じる。国際試合があれば、どこにいても町中の歓声でブラジルが得点を挙げたことを知ることが出来る。

当時、ブラジルは日本の援助も受けて、世界最大の鉄鉱山であるカラジャス鉱山の開発の真っ最中。鉄鉱石を始めとして、アルミ等資源が豊富でポテンシャルのある国といわれていたが、石油の大輸入国でもあり、世界でも問題の債務国であった。その後、技術の進歩により深海油田の開発が進み、現在、原油生産は約1億1千万トンと当時の4倍程度となった。金属資源のみならず食糧の大輸出国となっている。直近では、資源価格の下落やPetrobras(ブラジル石油会社)の汚職から発展している政治問題等、きな臭い部分も出てきてはいるも、チリに続く南米での優等生の位置付けは変わっていない。名目GDPも1983年1,460億ドルから2014年は2兆2,440億ドルと14倍と大きな飛躍を遂げている。まだまだブラジルの成長の潜在力はば抜けていると感じる。

昨年のワールドカップの実績も自信となり、来る2016年のリオ五輪もきっと成功するに違いない(でも宿泊設備はどうするのだろうか?)。

ニオブは産業界で、ここ50年前から使用され始めた若い金属なるも、他金属の代替・新規用途として拡がり、現在では自動車鋼板・鋼管・ステンレス等になくはならないレアメタルとなっている。コンソーシアムで株式を持ったCBMM社は現在、生産量と埋蔵量共に世界シェアの70-80%を占める(埋蔵量は調査出来ている部分だけで400年以上)。ニオブは、日本が優位性を持つ高付加価値製品には今後も欠かせない金属であり、日本のコンソーシアムがこの權益を確保し、将来起こりうる供給問題を解決した意義は大きいと信じている。

中国・江蘇省・浙江省・上海(浦東、浦西) 定点観測訪問報告

～3月9日から14日～

公益社団法人福岡貿易会 専務理事 甲斐 敏洋

中国の越境ECサイトや上海自由貿易試験区の実態の確認及び各都市の変わりようを見る為、蘇州・総合保税区、太倉港・総合保税区、上海外高橋保税区などを訪問した。

中国は1978年から30年続いた高成長もここにきて経済の落ち込みが鮮明となってきた。中国政府は経済成長を抑え高品質社会、「新常态」を目指すとしており、ここ1～2年重慶、太倉、大連等地方都市から日本商品の展示販売の要請が相次ぎ、尖閣問題、歴史認識で冷え切った日中関係の風向きが変わってきたことを感じている。また中国政府は2013年9月に「上海自由貿易試験区」を始動させた。2014年4月には、同試験区に輸入商品を取り扱う販売店「上海外高橋進口商品直売場」(DIG) が開設され、オープンには一般市民が大挙押し寄せ瞬間に商品が売れきれたと報道されている。

いつ行ってもスピードの速さと規模の大きさには驚かされる。その結果について簡単に報告する。

1 上海自由貿易試験区

1) 上海外高橋進口商品直売中心 (DIG) は全て一般貿易で輸入されたものを販売していた。今年の春節期間中の上海全店舗 (14店) の売上合計は約7000万元 (約14億円)、外高橋本店の一日当たり売上は100万元 (2000万円) とのことで富裕層も多くなり、中国商品に対する不信感から輸入商品とりわけ日本商品への渴望は非常に大きい。

2) 同試験区に日系企業としてはJTB、ソニー、豊田通商、伊藤忠が進出。伊藤忠商事は中国での日本商品のネット販売を発表した。1年半経過したが大きな進捗はまだ見られないとの説明を日本総領事館、JETRO上海より受けた。



(上海外高橋輸入商品直売場)

2 保税区を活用したネット取引

(越境ECサイト)

1) 中国政府としてはBtoCのネット取引での輸入品に対する税金の徴収として行郵税を適用。そしてネット取引による不良品、コピー商品の撲滅の立場から政府主導のECサイトでのネット取引を開始している。行郵税は郵便物や手荷物などに対する管理方式で、自己使用や合理的な数量に適用され、一般貿易に掛かる関税、消費税、増値税に比べ低い。又政府主導のECサイトはアリババ=ソフトバンク=日本の一極を崩すことを目指しているとの話を聞いた。

2) 各都市から、保税区内の輸入商品展

示販売場内では、一般貿易では輸入できない物も越境ECサイトでは輸入が可能であるとの説明を受けていたが実情は膨大な量に対して検査要員が足りず、見逃されて輸入されているとの説明を受けた。

3) 各都市のECサイトは別々で統一されていない。上海では跨境通というサイトが使用されている。

折角の機会であるので蘇州外国語学校、太倉港、羅經港、上海保税区、嘉興港区、杭州湾大橋等訪問したが何時行ってもそのスピード感と規模に大きさには驚かされる。

紙面の関係上詳細については、当福貿会HPを参照願いたい。(甲斐)



(蘇州、総合保税区ワンストップセンター)



(保税倉庫内の輸入ワイン)

河北省・唐山市・曹妃甸エコパーク訪問報告

～5月12日から16日～

公益社団法人福岡貿易会 専務理事 甲斐 敏洋

中国唐山市の招聘で河北省唐山市と曹妃甸港・エコパーク・工業区・開発区・総合保税区を訪問した。

唐山市は、昔から石炭他地下資源に恵まれ、重工業が発達したところであったが、改革開放後他地区に遅れをとっていた。大気汚染・水質汚染と環境で大きな問題を抱える中国は、北京と天津と河北省の一体開発を進め、その中心に環境改善に向けた曹妃甸日中エコパークを設立し、政府主導で北京近郊の鉄鋼、化学メーカー等の移転が

進められている。

今回の訪中団は、福岡勤務の前に唐山市副市長と曹妃甸エコパークの初代責任者であった、李天然在福岡中国総領事の日中関係の健全化、日中友好の推進及びエコパークの推進に対する熱意に、古巣の唐山市政府が呼応し実行された。現地では唐山市政府幹部挙げての歓迎と熱心な商談会、見学が行われ、日中友好のあかしとして参加者43名による桜の植樹祭が行われた。



公益社団法人福岡貿易会ベトナム／カンボジア海外経済視察

3月1日から5日間、「福岡貿易会」と「福岡アジアビジネス支援委員会（福岡市）」の共同企画による「ベトナム（ホーチミン）／カンボジア（プノンペン）」海外経済視察を実施した。

近年、サービス・外食産業は、海外展開が進んでおり、特に福岡および周辺地域からの進出は増加している。このため消費市場として有望な地域であるベトナム・カンボジアにスポットをあて、現地のサービス・外食産業の視察や展開に繋がる情報収集が主な目的。

視察には、主に福岡周辺地域で外食サービスを展開している企業等から11名が参加し、現地で日本人が経営しているレストランやイオンモール、JETRO Office等訪問した。

訪問した先々において、直接、商談に繋がる実践的な意見交換も多く、参加者同士による情報交換など中身の濃い海外視察となった。また、それぞれの参加者が、海外事情に直接触れることにより、当初の目的を十分に達成することができたと考えている。（詳しくは当会ホームページ-スタッフブログ参照）



貿易商談会で
ビジネスチャンス
を掴もう！

福岡貿易会 国際ビジネス相談アドバイザー
木村 寧海

海外とのお取引をお考えの中小企業にとって相手先をどのようにして見つけるかが大きなテーマです。海外に販路を求めている企業、海外から新しい商品の輸入をお考えの方は国内外を問わず商談会や展示会に参加することによって新たなビジネスチャンスが生まれます。西日本銀行（現西日本シティ銀行）が海外ネットワークを活用してお取引先と海外貿易業者を結び付ける役割を果たした経緯をお話したいと思います。

1985年9月のG5、プラザ合意以降の急速な円高は日本経済に深刻な打撃を与えていました。当時の為替レートは1ドル=230～240円でしたが1年後には150円と大幅に切り上がりました。日本の輸出産業は大きなダメージを受け、その下請け企業など中小企業は親会社からの受注減、コスト引き下げ要求のほか、アジアNICSやASEANという強力な競争相手の出現により、さらに厳しい環境下にありました。いわゆる円高不況です。当時、「国際化」、「自由化」がテレビ、新聞、経済誌のトップニュースとして扱われ、日本経済の構造転換が求められていました。

西日本銀行の国際業務は昭和49年（1974年）1月の外為公認銀行認可により本格的に始まり、すでに都銀をはじめ、地銀の大半が国際業務を行っており、後発である西日本銀行は特色ある国際業務の展開として近隣アジアを重視した貿易取引の支援を方針としてきました。そこで国内のお取引先と海外企業の橋渡しを目的に始めたのが貿易商談会です。まず以前に私が勤務していた神戸支店の華僑を中心とした貿易業者と福岡のお取引先との商談会を昭和58年2月、西日本銀行本店で開催しまし

た。参加したお取引先から海外で商談会をしたいという希望があり、西日本銀行と友好的なコルレス銀行を窓口としてお互いのお取引先を紹介しあうという方法で海外貿易商談会を開催しました。その後、コルレス銀行のほか各国の政府関係機関（貿易発展局など）と提携し幅広く参加を呼びかけました。昭和58年8月に韓国・香港貿易商談会をソウル、香港で開催したのを皮切りに平成4年まで台湾、タイ、シンガポール、インドネシア、中国（上海、南京、大連）など8回にわたって開催しました。私は商談会の責任者として現地に赴き、お取引先と現地企業の熱心な商談をサポートしてまいりました。

中小企業が海外との貿易取引を行う上で最も大きな悩みは相手企業の発掘です。貿易商談会は金融機関が仲介することによって、お互いの信用を補完することができるというメリットがあります。西日本銀行の貿易商談会をきっかけに海外取引が始まり、今日まで続いているお取引先もあります。

商談会を企画するうえで重要なことは提携先の選定です。当時は輸入目的に海外取引を考えているお取引先が多く、そのため相手国のコルレス銀行や貿易発展局などに事前にお取引先ごとに商談相手を決めていただき、現地へ乗り込んでいきました。南京商談会では出発直前になってアレンジを依頼していた現地機関から「アレンジ手数料として200万円支払え」というテレックスが飛び込みあわてましたが、とにかく現地に行き交際することにしました。商談会も順調に進み、最終日に現地機関の責任者と直談判して20万円で合意、ほっと胸をなでおろしたことがあります。タイでは傘メーカーがサンプルの傘を一本一本、ホテルの浴室のシャワーで検品するなどしていました。

昨今は、インターネットや情報誌を通して海外情報はあふれていますが、フェイス to フェイスで商談し、現地工場で見物を手にとってみる重要性は今も変わらないと思っています。私はこれからも公益社団法人福岡貿易会のアドバイザーとして微力ながら地域の国際化のお役に立ちたいと思っています。



木村 寧海
元西日本銀行（現西日本シティ銀行）国際部長、退職後、九大、九州産業大非常勤講師を経て、現在、九州古代史の会会長

第17回／第18回 福貿倶楽部（小規模交流会）を開催しました

○ 第17回福貿倶楽部

3月19日に西日本シティ銀行上海事務所長 佐々木治彦氏を講師に迎え、「上海から見える最新中国事情」のセミナーを開催。日系進出企業の最新動向や、中国は外国であることを認識し、予測不能なことが起きることを想定しておく必要性や中国とどう付き合っていくかなどについてお話いただきました。



○ 第18回福貿倶楽部

4月20日に当会の顧問にご就任いただいている門司税関長の廣田恭一氏を講師に迎え、「我が国の貿易動向と貿易の円滑化」について、セミナーを開催。不正薬物の取り締まり、関税の徴収およびAEO制度など貿易の円滑化に向けた取り組みなど税関の役割についてのお話とともに元防衛省に勤務されたご経験により、沖縄問題についても話を伺いました。



いずれもセミナー終了後は、会場を移動し、名刺交換の後、講師を囲んで参加者同士の交流が行われました。

第66回 福貿ゴルフコンペを開催しました

4月23日（木）第66回ゴルフコンペを古賀ゴルフクラブで開催しました。

当日は、晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和の中、前日に平和楼で開催された「福岡・ラオス友好協会総会・交流会」に出席されたラオス人民民主共和国のケントン・ヌアンタシン駐日大使をお招きし、和やかな雰囲気の中、総勢40名のコンペになりました。次回は秋に開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



1987年6月
西銀タイ貿易商談会現地新聞報道

上海通信

上海代表処 所長
奥田 聖



買欲は、日本で本物の製品が安い価格で販売されているのを見て大爆発を起こすのです。

こうした状況を受け、中国の旅行業界や航空業界はいち早く動いています。ターゲットの一つは福岡です。旅行サイト最大手のCtripは、自前でクルーズ会社を立ち上げ運航を始めました。最初の寄港地は博多港です。上海を拠点にする民間の航空会社である吉祥航空は、6月下旬に上海 - 福岡直行便の就航を始めます。夏休み期間中は格安チケットの販売も行うようです。既に就航している中国東方航空、中国国際航空という中国国有系の航空会社、佐賀空港に就航しているLCCの春秋航空を加え、上海 - 福岡間は、ますます便利になります。

ところで、こうした現象は日本人にとっての商機なのでしょうか？新しい現象が起こっている時、そこにはチャンスが生まれます。しかし、この商機は日本人に限ったわけではありません。当の中国人も同じようにチャンスと感じています。そして、一般的に中国人は機を見るに敏で、日本人は慎重を旨とするところがあります。今、上海で見ていると、上述した旅行会社や航空会社に限らず、既に多くの中国人がこのチャンスに食い込むため動き出しているように思います。不足しているホテルやバスだけでなく、求められているのに供給できていない観光客向けのサービスはまだあります。放っておくと、不足したサービスは、中国系資本の企業が埋めていくことになるかもしれません。中国人観光客のニーズを確実に掴んでいる分、むしろ彼らが有利な部分もあります。そうなる前に、地域で協力して、観光客の増加がしっかりと地域経済の活力として還元される形を作る必要があると感じます。



体验精致空中服务
Juneyao Airlines
The Right Trip Home

新会員のご紹介

三益製薬株式会社

代表者：大森 清美
所在地：福岡市博多区博多駅南2丁目1番5号-6F
TEL：092-411-8066 FAX：092-411-8086
MAIL：info@san-eki.co.jp
URL：www.san-eki.co.jp
主要業務：天然素材を使用した健康食品の開発・卸・直販・OEM受託
当社の特色：「未病予防カンパニー」として、中医学の理論に則り、自然療法や健康食品の提案を行っています。健康食品や健康器具の販売サポートも行います。



株式会社エーエヌディー

代表者：代表取締役社長 久保田 洋充
所在地：福岡市博多区美野島2-16-8 日大ビル4F
TEL：092-483-6041 FAX：092-483-6047
MAIL：info@andinfo.co.jp
URL：http://andinfo.co.jp

「日本、中国そしてアジアの医療発展を支えるために。」



Vital support for life sustainers
いのちを支えるひとを支える

株式会社パナックスメディア

代表者：代表取締役社長 甲斐 久幸
所在地：福岡市南区玉川町18番6号 PanaxMedia
TEL：092-555-6600 FAX：092-555-6900
MAIL：kai@panaxmedia.com
URL：http://www.panaxmedia.com http://www.kigocorotea.com
主要業務：広告印刷業
和紅茶専門店きこころ

日本国内で生産・加工された紅茶（和紅茶）を専門に販売しております。国産の茶葉で作られた紅茶は、渋みやえぐみが少なくあっさりまるやかな口当たりの良さが特徴で、和食や和菓子にもよく合います。国内で生産・流通されているので、安心安全に召し上がっていただけます。
当社の特色：パナックスメディアは時代のニーズを的確にとらえ、クロスメディアを推進し、ビジネスパートナーとしてお客様にプラスをご提供してまいります。お客様のご要望は多種多様です。私たちはお客様により良いビジネスをしていただくために、まずご要望を正確に理解するところからはじめます。
お客様のご要望を正確に把握したうえで、既成概念にとらわれないオリジナリティ溢れる提案をさせていただきます。
和紅茶専門店きこころでは、九州初の和紅茶専門店として日本各地のお茶の産地で作られている和紅茶を取りそろえ販売しております。
贈答品にも最適で、珍しい有田焼茶器とのセットも人気です。



KIGOCORO.

株式会社マルミツサンヨー

代表者：代表取締役社長 鶴 繁樹
所在地：福岡県八女市立花町兼松1634
TEL：0943-37-1131 FAX：0943-37-1528
MAIL：eigyo@marumitsu-sunyo.co.jp
URL：http://www.marumitsu-sunyo.co.jp
主要業務：果実・野菜・水産の缶詰・レトルト・罐詰め
調理食品の小売り・業務用缶詰・レトルト
果実のゼリー

主なOEM受託先は、サンヨー堂・国分・伊勢丹・国内各県のJA・UCC・日生協などです。

当社の特色：創業以来、国産の農水産物を加工生産販売一筋に83年目を迎えました。

農産缶びん詰やレトルトOEM生産を中心に、現在は国産原料に特化したフルーツゼリーの生産販売に注力し、海外販売にも取り組み始めました。

その他（会員企業への要望についてなど）

過去2年間、ゼリーをシンガポール伊勢丹様のご協力で試験販売をさせて頂き、現在輸出の取り組みを開始したところです。私どもはメーカーですので、実務については、日本の商社のご協力が不可欠ですので、今後、よろしくご教授、ご指導お願い致します。

「クレーム」とClaimの違いを把握し、使い分けしましょう!

末次通訳事務所 代表 末次 賢治

今回も「盲点になる英単語」の意味をご紹介します! 貴社が輸入販売している商品に何らかの「軽度の不良」があり、お客様方からお叱りを頂きました。商品を取り換えてくれ、とか、返金してくれ、でなくて、単に、お叱りやご意見が貴社にきました。この事を英語で、海外メーカーに連絡します: 「お客様からクレームが沢山来ました」とemail: [We've got a lot of claims from our customers.] 皆さんは、この英文を見て、どう思いますか? 海外の方は、上の情報、特に[claims]を日本語での「クレーム」でなく、「返金請求」又は「良品との交換」と解する為、貴社に「返金/交換請求が来た」と解します。すると海外メーカーからの対応もそれ相応の内容になるでしょう。

「クレーム」とclaimの違いを次に明示: ※お蕎麦に蚊が入っていました:

1) あなた: 「大将、この蕎麦に蚊が入ったのが!」単にこの事をのみ申し立てる場合: 「商品に何か満足出来ない旨を申し立てる」のは動詞はcomplain・名詞はcomplaintです。

★[claim]は、この場合には使いません!

2) 「大将! 蕎麦に蚊が入ったとき、お金返して!」或いは「もう1つ無料で作って」と言う場合こそ、英語では、claimを使います。貿易ビジネスでは、コレポンを相手側と頻繁にしますが、「クレーム」と英語のclaimの違いを明確に区別しておく事が肝要。

※[claim]とは、「物事を所有している」「所有権を明確に主張すること」がその意味合いです。注文した蕎麦が配膳さ

れた時点で、所有権が、あなたに移行します。だからあなたは蕎麦の所有権利保持者として、蕎麦に異常がある場合には、「新品との交換請求」、或いは、「返金請求」を申し立てる事ができます。

下記はTOEIC試験で適語選択課題①:

[Please inform all customers who have claims that they must forward any documentation that will () them.]

選択肢: superior/ supreme/ suppose/ support

★この問題の正解はsupportです:意味はお分かりですか? 英文は語順の通り、「意味のまとまりごと」に理解をします。

※後ろから意味を理解するなどは間違いです: 「お客様全員に伝えて下さい/特に返金請求をしているお客様方に/何らかの書類を提出するようにと/返金請求の根拠となる書類を」の意です。文末のthemは、何を指しているか分かりますか?

themがあるからといって、必ずしも人間を指している訳ではありません。★このthemは、claimsを指しています。さて別のTOEIC問題②:

[The landlord must () all claims to equipment installed in the unit by the tenant.]

選択肢: ware/ wave / waive / receive

★さて、何が正解でしょう? この正解の単語は英文契約書にもよく使われるものです。正解は、[waive]で、「権利等を放棄する」意。

<家主さんはあらゆる所有権を放棄する事/ 設備類に対して(の所有権を) /借主が当該物件に据付けた(設備類に対しての所有権を) >の意。

※英文契約書にWaiver条項=権利放棄条項や、Non-Waiver条項=権利非放棄条項があります。その動詞のwaiveを使います。質問は何なりとどうぞ!

Thanks for reading.===

福岡貿易会からのお知らせ

今後開催予定のセミナー

※予定につき変更の場合があります。会員以外の方の受講も可能です。

○ 通関・食品輸入手続き入門セミナー

【日時】 6月10日(水) 10:30~16:30

【会場】 福岡商工会議所2階 第2研修室

【講師】 門司税関福岡空港税関支署
門司植物防疫所福岡支所
動物検疫所門司支所博多出張所
福岡検疫所食品監視課

【受講料】 無料

○ ビジネス(貿易)英語入門編/応用編

【日時】 入門編: 6月23日(火) 9:30~16:30

応用編: 6月24日(水) 9:30~16:30

【会場】 福岡商工会議所2階 第2研修室

【講師】 トレードコンシェルジュ StreetStart代表
法嶋 由昭 氏

【内容】 ・英文Eメールの構成と文章作法
・ビジネス英語の基本表現
・各ビジネスシーンで使う応用表現、他

【受講料】 各編 福岡貿易会会員: ¥3,000
一般: ¥6,000

○ 初めての海外販売戦略

【日時】 平成27年7月22日(水) 9:30~16:30

【会場】 福岡商工会議所2階 第2研修室

【講師】 国際法務(株) 代表取締役 中矢 一虎 氏

【内容】 海外市場での取組と留意点
海外の新規顧客開拓方法、等

【受講料】 福岡貿易会、福岡商工会議所会員: ¥3,000
一般: ¥6,000

○ 貿易実務に役立つ通関知識講座

【日時】 平成27年7月23日(木) 9:30~16:30

【会場】 福岡商工会議所2階 第2研修室

【講師】 国際法務(株) 代表取締役 中矢 一虎 氏

【内容】 新しい日本の通関システム、課税標準、免税・減税・戻し税について他

【受講料】 福岡貿易会会員: ¥3,000 一般: ¥6,000

福岡貿易会事務局職員の異動

当会事務局職員が4月1日付で下記のとおり交代しました。よろしくお願いたします。

※氏名の後の()は直前の役職です。

(新任)

事務局長 山本 公平 (福岡市総務企画局調整部企画課長)

(転任)

福岡市博多区保健福祉センター保護第3課長

水町 卓典 (事務局長)

●発行/ 公益社団法人福岡貿易会 ☎812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目9番28号7階

☎ 092 (452) 0707 FAX 092 (452) 0700

上海代表処 上海市淮海中路398号 博銀国際大廈9樓B2

☎ 86-21-6385-8815 FAX 86-21-6385-8806

●発行日/平成27年6月9日 ●印刷/株式会社西日本高速印刷